

国民と大矛盾
世界から孤立

暴走



安倍晋三首相

未来ない

靖国参拝

侵略戦争を美化

安倍首相が参拝を強行した靖国神社は、日本の侵略戦争を「自存自衛の正義のたたかい」「アジア解放の戦争」と美化、宣伝する特殊な施設。「不戦の誓い」に最もふさわしくない場所です。



靖国神社

戦後の国際秩序に挑戦 第2次世界大戦後の国際秩序は、日独伊の侵略戦争を不正義とすることを土台にしています。首相の行為は、今日の国際秩序への挑戦。批判は、中韓政府はもとより米国政府、国連事務総長、EUなどにも広がり、世界全体を敵に回しました。

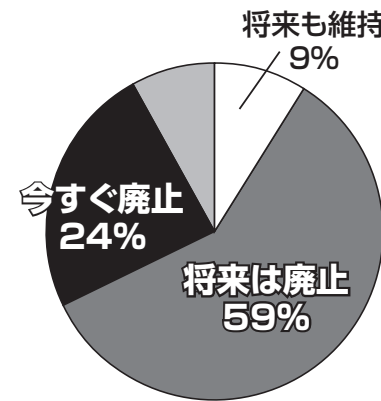
原発再稼働

「3.11」以前に引き戻す

福島原発事故は、今も被害が拡大しています。ところが安倍政権は、原発を将来にも維持・推進し、再稼働を進める「エネルギー基本計画」を決めました。このもとで全国48基のうち16基もの原発再稼働が申請されています。

国民の圧倒的多数は「原発廃止」。日本社会を「3.11」以前に引き戻す暴挙は許されません。

「原発廃止」が8割以上



「毎日」12月26日付から

沖縄新基地建設

「札束」で県民裏切らす

沖縄県・仲井真知事が承認を表明した、辺野古への新基地建設のための公有水面埋め立て。厳しく批判されていますが、知事以上に責任が重大なのは安倍政権です。

「札束」の力で圧力をかけ、県民の総意である「辺野古移設反対」を踏みにじらせました。民主主義の国にあってはならない暴政です。

「アベノミクス」

国民は負担増ばかり

働く人の賃金は下がり続けたまま。そこに4月から消費税8%で8兆円の負担増が襲います。一方で大企業には減税と巨大公共事業のばらまき。大軍拡も。余りに不公平です。

金融操作で一時的に株が上がっていますが、庶民に恩恵はなく、経済成長も急減速。「アベノミクス」の正体はあらわです。

「家計 増す重圧 優遇策は企業偏重」(「毎日」)
「暮らしより安保 増税の痛み顧みず」(「東京」)

どんな問題でも建設的対案 日本共産党

くらし 4月からの消費税増税中止

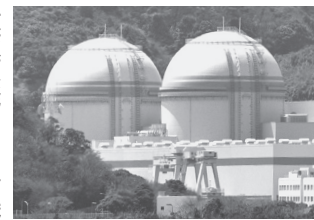
- 働く人の所得をふやして経済危機を打開
- 「4月からの消費税増税は中止」の一点で共同を呼びかけ。社会保障の財源は消費税に頼らず▽大金持ちと大企業に適切な負担、浪費の一掃▽国民の所得をふやす経済改革――で確保

憲法 「戦争する国」許さない

- 安倍政権は憲法9条2項を変えて「国防軍」をつくるというが、9条2項の歯止めをなくせば、アメリカと一緒に「海外で戦争する国」に変えられてしまう
- 憲法の全条項をまもり、生かす

原発 「即時ゼロ」の決断を

大飯原発3、4号機



- 「即時原発ゼロ」を決断し、ただちに廃炉のプロセスに

- 汚染水問題は非常事態。「収束宣言」を撤回し解決へ持てる力・英知の結集を
- 再生可能エネルギーに大胆に転換